



平成 28 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成 27 年 10 月 30 日

上場会社名 株式会社 植松商会 上場取引所 東  
 コード番号 9914 URL <http://www.uem-net.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 植松 誠一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 阿部 智 (TEL) 022(232)5171  
 四半期報告書提出予定日 平成 27 年 11 月 2 日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 28 年 3 月期第 2 四半期の業績 (平成 27 年 3 月 21 日～平成 27 年 9 月 20 日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28 年 3 月期第 2 四半期	2,655	△11.7	△23	—	1	△97.9	25	25.0
27 年 3 月期第 2 四半期	3,008	△0.2	18	△8.8	47	△2.4	20	△39.7

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
28 年 3 月期第 2 四半期	円 銭 5.61	円 銭 —
27 年 3 月期第 2 四半期	円 銭 4.49	円 銭 —

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
28 年 3 月期第 2 四半期	百万円 4,302	百万円 2,749	% 63.9	円 銭 593.47
27 年 3 月期	4,416	2,825	64.0	609.79

(参考)自己資本 28 年 3 月期第 2 四半期 2,749 百万円 27 年 3 月期 2,825 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
27 年 3 月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 7.50	円 銭 7.50
28 年 3 月期	—	0.00			
28 年 3 月期(予想)			—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 28 年 3 月期の業績予想 (平成 27 年 3 月 21 日～平成 28 年 3 月 20 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	5,771	△4.1	0	—	47	△52.0	65	△9.7	14.03

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	4,680,000株	27年3月期	4,680,000株
28年3月期2Q	46,974株	27年3月期	46,974株
28年3月期2Q	4,633,026株	27年3月期2Q	4,633,037株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間（平成27年3月21日～平成27年9月20日）におけるわが国経済は、円安基調の定着を主因とする企業収益の拡大を背景に、景気の緩やかな回復基調が続いているものの、中国をはじめとする海外経済の成長減速など、わが国の景気を下押しするリスクが懸念され、先行き不透明な状況が続いております。

当機械工具業界におきましては、主要取引先である自動車関連における国内生産台数は依然として前年割れの状況が続いており、当社の営業基盤である東北地方における、自動車、電子部品などの生産水準の回復遅れや設備投資の抑制などから、当社をめぐる環境も厳しいものとなりました。

このような状況の中で当社は、お客様の多様なニーズに応えるべく積極的な営業展開による新しい需要の創造とベースの底上げを図り、利益体質への改善、企業価値の向上を目指してまいりました。

以上の結果、売上高は2,655百万円（前年同四半期比11.7%減）となり、商品分類別の売上高でも、伝導機器が300百万円（同2.7%増）となりましたが、機械225百万円（同21.2%減）、産機1,220百万円（同15.3%減）、工具649百万円（同8.8%減）、その他259百万円（同5.8%減）の減収となりました。

利益につきましては、利益確保のため経費削減に努めましたものの営業損失23百万円（前年同四半期は18百万円の利益）、経常利益1百万円（前年同四半期比97.9%減）となり、四半期純利益につきましては、保有有価証券の償還による投資有価証券償還益34百万円を特別利益に計上したため、四半期純利益は25百万円（前年同四半期比25.0%増）となりました。

### （2）財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債および純資産の状況

##### （資産）

当第2四半期会計期間末における総資産は、4,302百万円となり前事業年度末に比べ、114百万円減少しました。この主な要因は、現金及び預金が175百万円と商品が73百万円増加となりましたが、一方、受取手形及び売掛金が196百万円と投資有価証券で142百万円の減少によるものであります。

##### （負債）

当第2四半期会計期間末における負債合計は、1,552百万円となり前事業年度末に比べ、38百万円減少しました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が41百万円増加となりましたが、一方、未払法人税等21百万円、役員賞与引当金14百万円及び繰延税金負債が26百万円の減少によるものであります。

##### （純資産）

当第2四半期会計期間末における純資産は、2,749百万円となり前事業年度末に比べ、75百万円減少しました。この主な要因は、四半期純利益の計上が25百万円となりましたが、期末配当金の支払い34百万円とその他有価証券評価差額金が66百万円の減少によるものであります。

なお、当四半期会計期間末における自己資本比率は63.9%となり、前事業年度末に比べ、0.1ポイント下がっております。

#### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末に比べ175百万円増加し677百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、121百万円（前年同期は128百万円の使用）となりました。この主な要因は、たな卸資産の増加額73百万円、投資有価証券償還益34百万円及び法人税等の支払額26百万円などの減少要因がありましたものの、売上債権の減少額189百万円と税引前四半期純利益35百万円の計上によるものであります。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果獲得した資金は、94百万円（前年同期は2百万円の使用）となりました。この主な要因は、投資有価証券の取得による支出19百万円がございましたが、投資有価証券の償還による収入100百万円及び有価証券の償還による収入10百万円などによるものであります。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、41百万円（前年同期比37.2%増）となりました。この要因は、配当金の支払額34百万円と、ファイナンス・リース債務の返済による支出6百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想につきましては、当第2四半期累計期間の業績を踏まえ、平成27年10月23日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月20日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	503,019	678,142
受取手形及び売掛金	1,774,504	1,578,045
電子記録債権	174,318	180,897
有価証券	10,186	—
商品	153,229	227,156
繰延税金資産	9,162	6,110
その他	35,998	16,620
貸倒引当金	△450	△510
流動資産合計	2,659,969	2,686,463
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	124,582	120,570
土地	162,581	162,581
その他(純額)	35,671	33,056
有形固定資産合計	322,834	316,208
無形固定資産	13,375	11,684
投資その他の資産		
投資有価証券	1,288,154	1,145,363
その他	141,485	151,663
貸倒引当金	△9,267	△9,196
投資その他の資産合計	1,420,371	1,287,830
固定資産合計	1,756,582	1,615,723
資産合計	4,416,552	4,302,186
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,238,724	1,280,468
未払法人税等	29,858	8,199
賞与引当金	16,800	12,200
役員賞与引当金	14,000	—
その他	103,942	93,727
流動負債合計	1,403,324	1,394,595
固定負債		
役員退職慰労引当金	49,300	51,850
繰延税金負債	110,179	83,289
その他	28,582	22,901
固定負債合計	188,061	158,041
負債合計	1,591,386	1,552,636

(単位: 千円)

	前事業年度 (平成27年3月20日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,017,550	1,017,550
資本剰余金	1,174,661	1,174,661
利益剰余金	426,635	417,873
自己株式	△7,412	△7,412
株主資本合計	2,611,434	2,602,673
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	213,730	146,876
評価・換算差額等合計	213,730	146,876
純資産合計	2,825,165	2,749,550
負債純資産合計	4,416,552	4,302,186

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成26年3月21日 至 平成26年9月20日)	当第2四半期累計期間 (自 平成27年3月21日 至 平成27年9月20日)
売上高	3,008,122	2,655,798
売上原価	2,595,556	2,300,523
売上総利益	412,566	355,275
販売費及び一般管理費	394,518	379,139
営業利益又は営業損失(△)	18,048	△23,863
営業外収益		
受取配当金	5,626	6,012
仕入割引	19,564	17,429
その他	6,715	4,861
営業外収益合計	31,905	28,303
営業外費用		
支払利息	886	718
支払手数料	—	1,678
為替差損	1,049	732
その他	302	285
営業外費用合計	2,237	3,415
経常利益	47,717	1,024
特別利益		
投資有価証券売却益	1,020	—
投資有価証券償還益	—	34,090
特別利益合計	1,020	34,090
特別損失		
固定資産除却損	16	—
特別損失合計	16	—
税引前四半期純利益	48,721	35,115
法人税、住民税及び事業税	10,854	5,199
法人税等調整額	17,081	3,929
法人税等合計	27,936	9,129
四半期純利益	20,785	25,986



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成26年3月21日 至 平成26年9月20日)	当第2四半期累計期間 (自 平成27年3月21日 至 平成27年9月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	48,721	35,115
減価償却費	10,122	11,385
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△11,600	△4,600
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△7,000	△14,000
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△9,207	—
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△15,700	2,550
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	50	△11
受取利息及び受取配当金	△10,197	△8,566
支払利息	886	718
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,020	—
投資有価証券償還損益 (△は益)	—	△34,090
固定資産除却損	16	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△132,468	189,880
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△5,447	△73,926
仕入債務の増減額 (△は減少)	20,201	41,743
その他	15,980	△6,391
小計	△96,663	139,806
利息及び配当金の受取額	9,447	8,611
利息の支払額	△487	△591
法人税等の支払額	△40,796	△26,259
営業活動によるキャッシュ・フロー	△128,500	121,566
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の償還による収入	111,019	10,166
有形固定資産の取得による支出	△8,093	△2,942
有形固定資産の売却による収入	—	8,558
無形固定資産の取得による支出	—	△126
投資有価証券の取得による支出	△108,790	△19,275
投資有価証券の償還による収入	—	100,000
貸付金の回収による収入	1,643	5,065
その他	1,939	△6,674
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,281	94,771
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△56	—
配当金の支払額	△23,166	△34,747
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△6,813	△6,466
財務活動によるキャッシュ・フロー	△30,035	△41,214
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△160,818	175,123
現金及び現金同等物の期首残高	515,785	502,437
現金及び現金同等物の四半期末残高	354,967	677,561

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

前第2四半期累計期間(自平成26年3月21日 至平成26年9月20日)及び当第2四半期累計期間(自平成27年3月21日 至平成27年9月20日)

当社は、機械、工具及び産業機械・器具等の販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。